

25.12.03

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application: 2002年12月31日

出願番号
Application Number: 特願2002-383830

[ST. 10/C]: [JP2002-383830]

出願人
Applicant(s): 小原 壽之

REC'D 19 FEB 2004

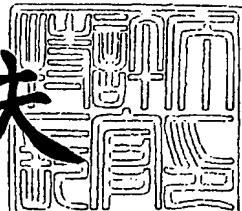
WIPO PCT

PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2004年 2月 5日

特許長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



BEST AVAILABLE COPY

出証番号 出証特2004-3006490

【書類名】 特許願

【整理番号】 N0-1

【提出日】 平成14年12月31日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府吹田市新芦屋下22-33

【氏名】 小原 壽之

【特許出願人】

【住所又は居所】 大阪府吹田市新芦屋下22-33

【氏名又は名称】 小原 壽之

【フリガナ】 カラトシキ

【電話番号】 06-6877-3531

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【書類名】 明細書

【発明の名称】 自動車の車体を保護する物品を格納する装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】自動車の車体を保護するために、自動車の車体に取り付けた自動車の車体を保護する物品を格納する装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、自動車の車体を保護する必要が無い場合に、自動車の車体を保護する為に取り付けた物品を車体内部に電動により、格納する装置に関する物である。

【0002】

【従来の技術】

従来、自動車の車体を保護するために、ゴム、金属、を車体に直接取り付固定していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

これには、次のような欠点があった。

(イ) 自動車の車体を保護する物品が車体に突起し、固定されているために必要な時と、不要な時の選択ができない。

(ロ) 自動車のデザインに関し、車体を保護する物品を取り付ける設計に於いてデザイン上に制約が有り、保護を必要とする部位に取り付けができない。

(ハ) このため、スーパー・マーケットなどの駐車場に於いて、乗降時に、他車のドアによる衝突事故が発生していた。

本発明は、これらの欠点を解決する為になされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】

自動車の車体を保護する物品（1）を電動により、自動車の車体（4）内部に格納する装置。

【0005】**【発明の実施の形態】**

以下、本発明の実施の形態を説明する。

(イ) 自動車の車体を保護するために、自動車の車体部分に取り付けた物品を、図17で示すように回転し、格納すると同時に、もう一方の片面である車体と同一の品質の物品により、車体と一体化させる構造である。

(ロ) 自動車の車体を保護するために取り付けた物品の車体部分を、電動により回転し、格納する構造である。

本発明は、以上のような構造でこれを使用するときは、自動車を駐車する時など車の車体を保護する必要の有るときは、自動車内のパネルスイッチ及びリモコンにより、専用のモーターを動作させる事により、車体を保護すために取り付けた物品が運動し、車体を保護する状態に回転し、固定する。

自動車の車体を保護する必要の無いときは、車体を保護する物品を自動車の車体内に格納する。

【0006】**【実施例】**

図16に示すように、自動車の側面及び前部左右、後部左右の車体の保護を必要とする部位に取り付ける。

その他の実施例、自動車の車体を保護するために取り付けた物品の車体部分を、電動により、水平移動して格納する。

【0007】**【発明の効果】**

従来、自動車の車体を保護する物品が車体上に突起し、固定されて居るため運転者が必要な時と、不要な時の選択が出来なかつたが、本発明により、運転者が自動車の車体を保護する必要が有るときは、自動車の車体を保護する物品を電動装着出来る。

又、自動車の車体を保護する必要の無いときは、格納する事が出来る。

従来、自動車のデザインに関し、車体を保護する物品を取り付ける設計に於いて、デザイン上に制約が有り、保護を必要とする部位に取り付けが出来なかつた

が、本発明により、自動車の車体を保護する必要のある部位に取り付ける事が出来る。

又、従来のデザイン上の制約が無くなり、特に前後のバンパーのデザインが側面の車体を保護する物品と一直線にする必要が無くなり、デザインが大幅に改善する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の部分側面拡大図

【図 2】

本発明の断面図

【図 3】

本発明の斜視図

【図 4】

本発明の斜視図

【図 5】

本発明の斜視図

【図 6】

本発明の斜視図

【図 7】

本発明の斜視図

【図 8】

本発明の断面図

【図 9】

本発明の斜視図

【図 10】

本発明の部分拡大斜視図

【図 11】

本発明の部分斜視図

【図 12】

本発明の部分斜視図

【図 13】

本発明の部分斜視図

【図 14】

本発明の正面図

【図 15】

本発明の正面図

【図 16】

本発明の実施例図

【図 17】

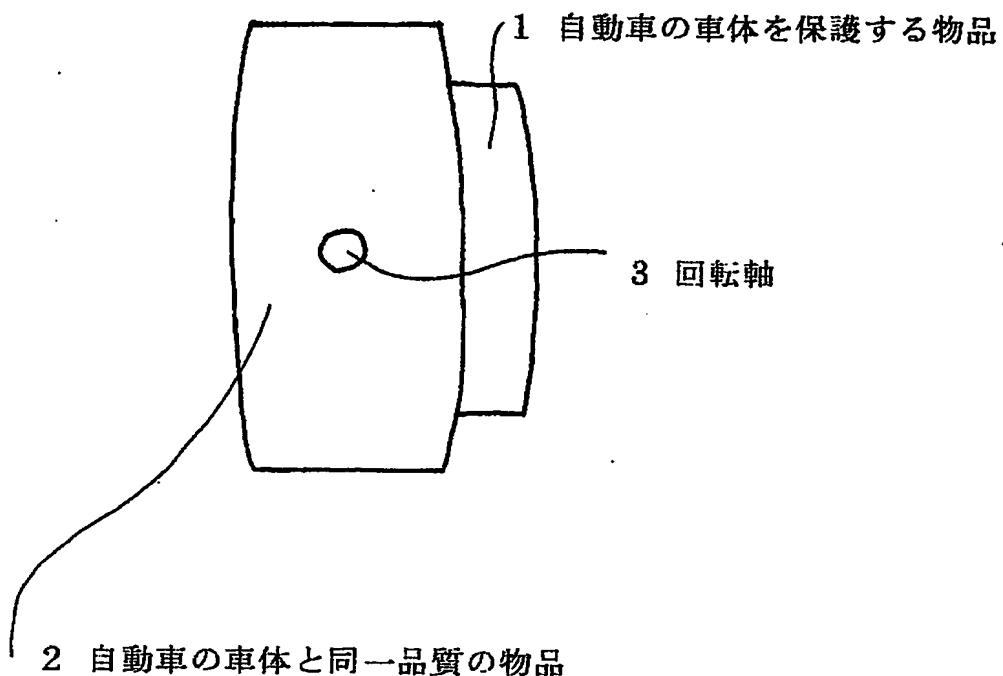
本発明の工程図

【符号の説明】

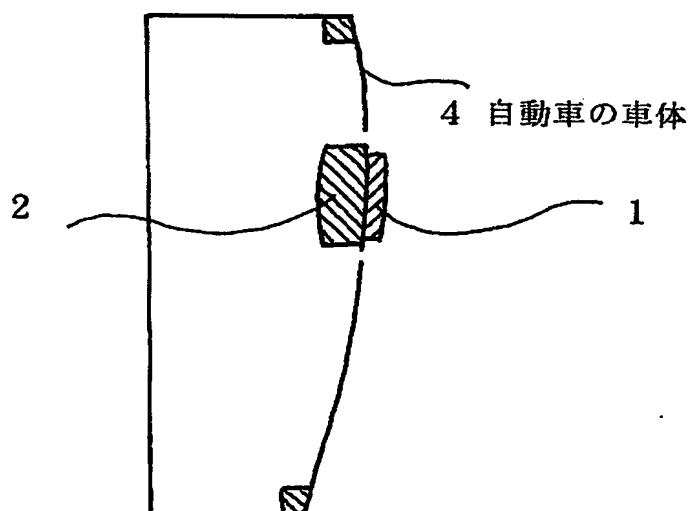
- 1 自動車の車体を保護する物品
- 2 自動車の車体と同一品質の物品
- 3 回転軸
- 4 自動車の車体
- 5 本発明物品

【書類名】 図面

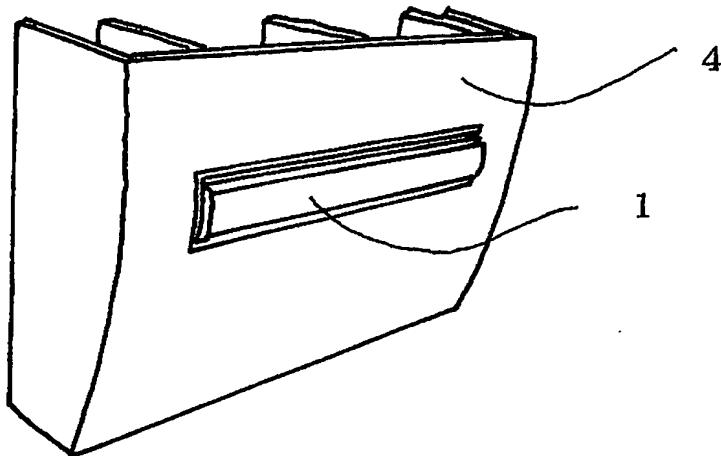
【図1】



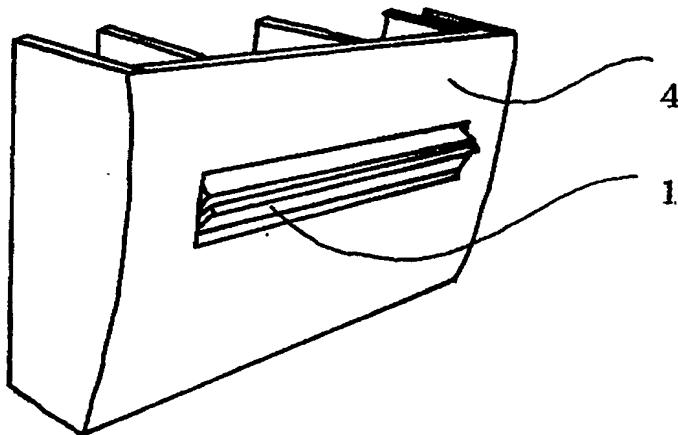
【図2】



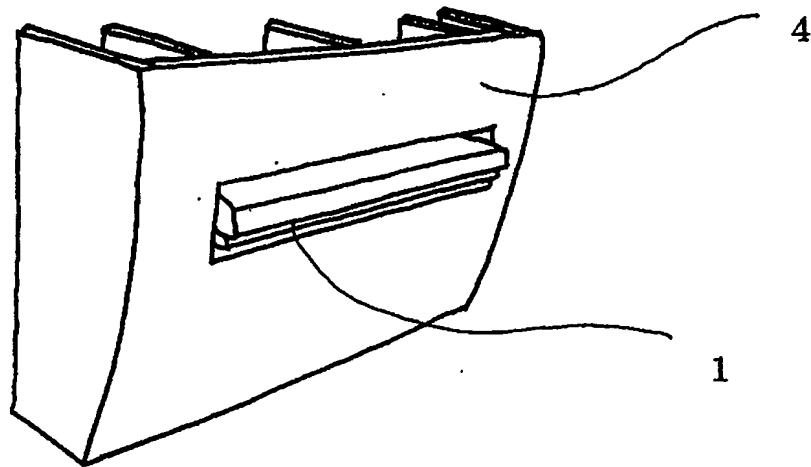
【図3】



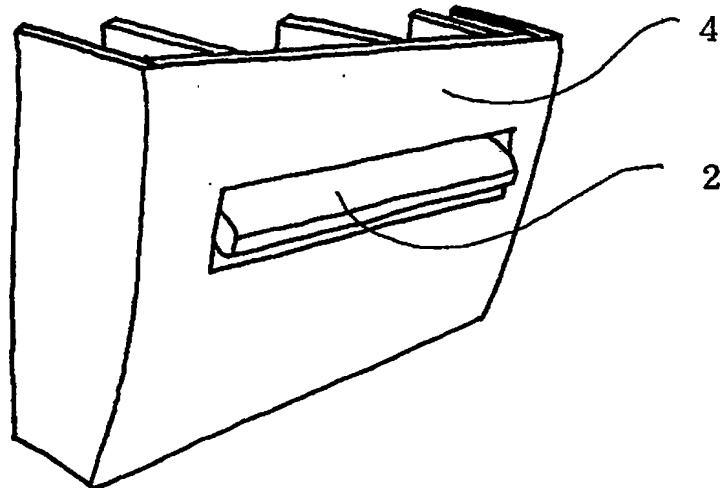
【図4】



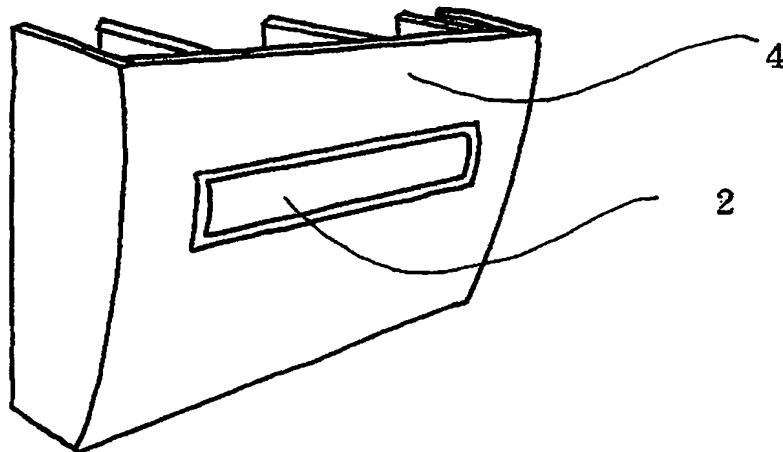
【図5】



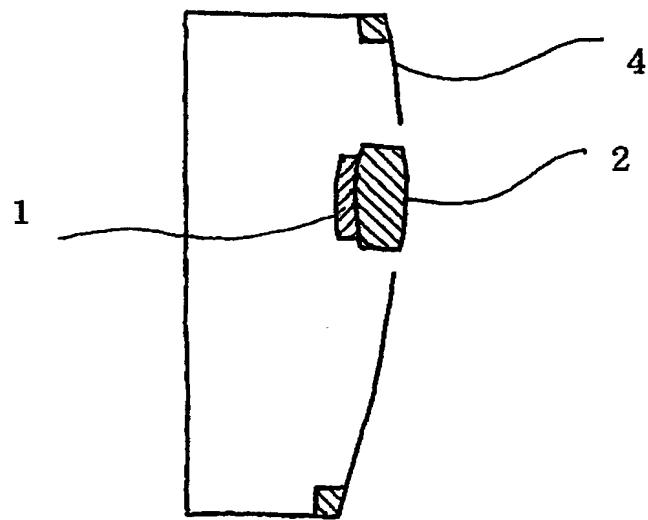
【図6】



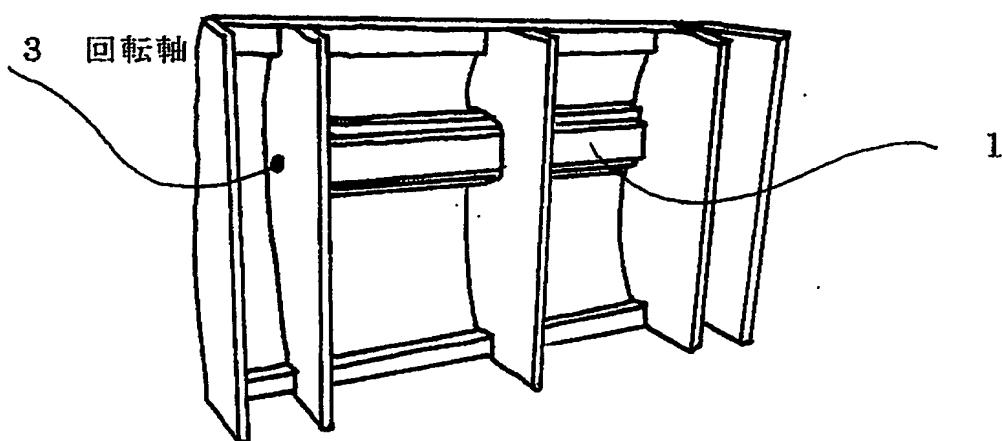
【図7】



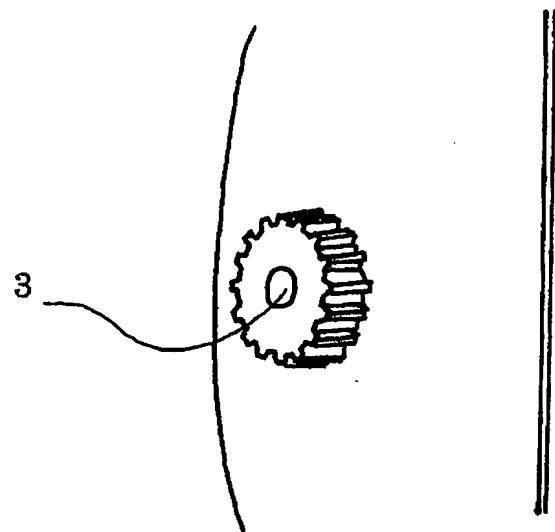
【図8】



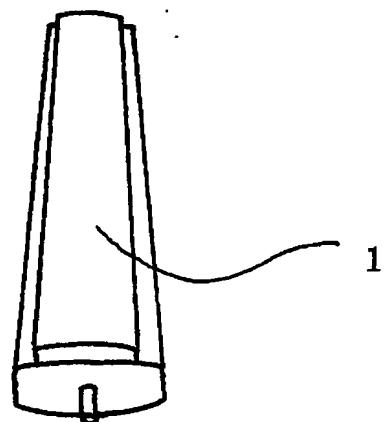
【図9】



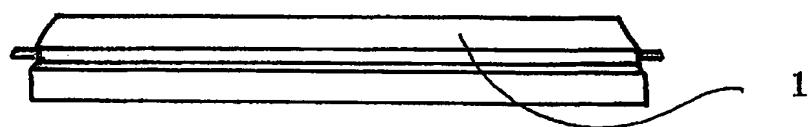
【図10】



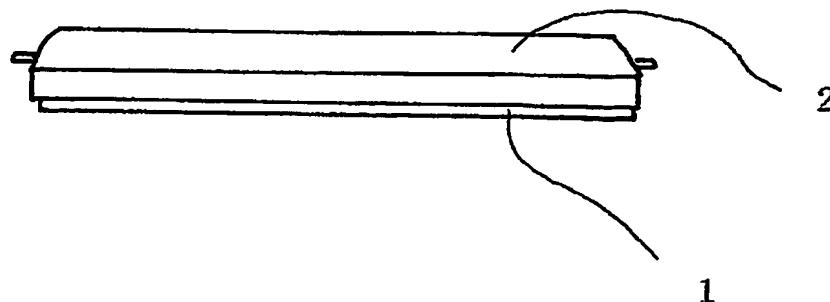
【図11】



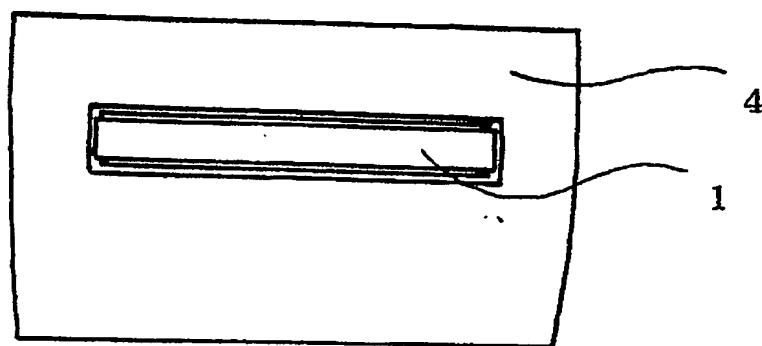
【図12】



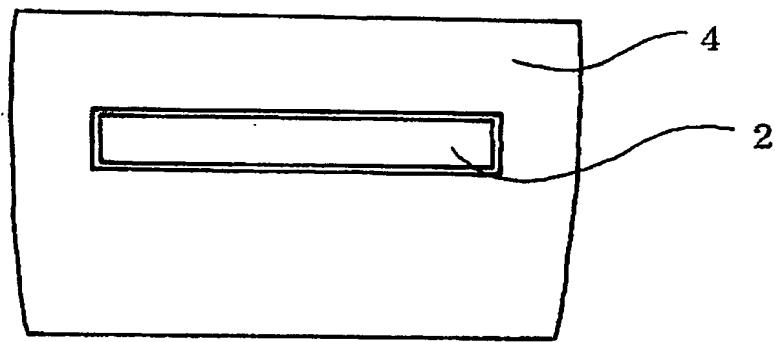
【図13】



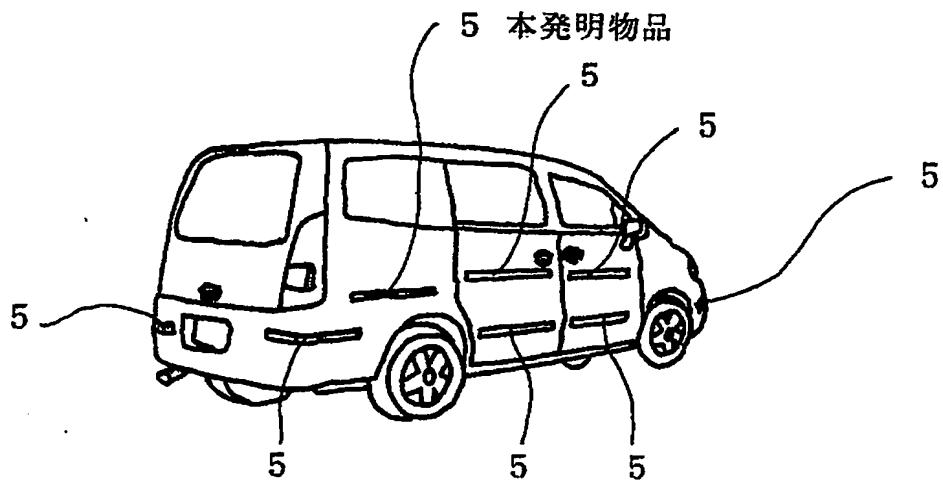
【図14】



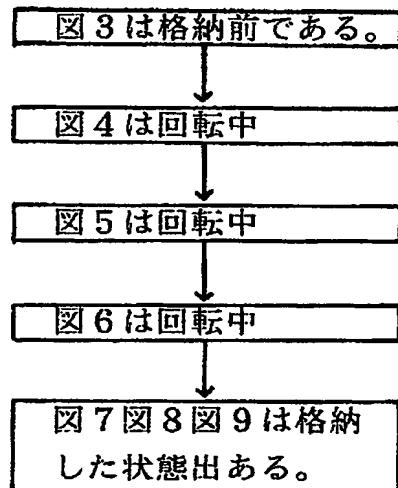
【図15】



【図16】



【図17】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 自動車の車体を保護する必要が無いとき、自動車の車体を保護する為に取り付けた物品を車体内に電動により、格納する。

【解決手段】 自動車の車体を保護するために取り付けた物品を、電動により格納する装置。

【選択図】 図1

特願 2002-383830

出願人履歴情報

識別番号 [503054498]

1. 変更年月日 2002年12月31日

[変更理由] 新規登録

住所 大阪府吹田市新芦屋下22-33
氏名 小原 寿之